

地域学校協働研修会



令和6年8月1日（木）玉川村たまかわ文化体育館 クラブハウス 参加者28名

講義・演習 「小スペース小コストでできる！運動・室内あそび」

玉川村地域おこし協力隊 黒木光治 氏

室内でできる運動・遊びについて紹介していただき、実際に体を動かしたり、体験をしたりしました。放課後子ども教室や児童クラブによっては、広いスペースがないところもあります。アイデア一つで子どもたちも支援員のみなさんも楽しい活動になることが分かりました。また、新聞紙や紙コップ、風船など準備しやすい物を使って、盛り上がる活動ができることも分かりました。さらに、準備から後片付けまで子どもたちが話し合っていくことも、大切な学びの場であることを教えていただきました。



マトリョーシカ並べ
大・中・小の紙コップ
を使ったビンゴゲーム



風船カーリング
ボールと手ぬぐい
を使ったカーリング



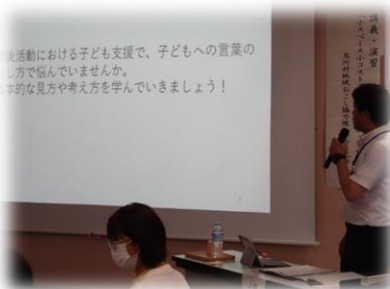
参加者の声

- 低コストで充実した遊びができると知り、今後の活動の幅が広がりました。
- 雨の日でも室内で遊んだり、自分たちでアレンジしたり、大人も夢中になったりする遊びを教えていただき参考になりました。

グループワーク・講話 「『多様性を支援する』～安全して過ごせる居場所作り～」

福島県教育庁県中教育事務所 指導主事 佐藤章人

多様性とは「全部ちがう」という思考です。一人一人の人間性を尊重することが大切であり、一人一人を大事にする支援員や先生方の姿を子どもたちは見て学んでいるという話がありました。グループワークでは、それぞれの事例を話し合い、情報を共有しました。



参加者の声

グループワークで情報を共有しました

- 全ての人それぞれ違うという視点で事業を進めていきたいです。
- 多面的な見方が必要です。学校や様々な機関と連携が必要だということも分かりました。
- 私自身もルールを決めつけてしまったり、「こうじゃなくてはいけない」と思っていたりするところがありましたが、「多様性を支援する」ということをこれからも学んでいきたいと思えます。